

事業シート (概要説明書)

予算事業名	高度部材に係る研究開発促進事業費	事業開始年度	平成19年度
上位施策事業名	自律的産業集積の推進	担当部局	農水商工部
根拠法令	なし	担当室	産業集積室
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	グループ名	新技術創出G
事業の必要性・実施の背景	アジアをはじめとする新興国の台頭、急激な円高の進展等は、県内のものづくり中小企業を直撃しており、こうした状況の中、本県経済が引き続き競争力を維持していくためには、いわゆる汎用品中心の産業構造から知識集約型産業構造への転換を図り、技術でも事業でも勝てる元気なものづくり企業を創出していくことが不可欠である。		
目的 (何をどうするために)	高度な技術に基づく付加価値の高い新製品・新サービスを生み出すために、産産や産学連携を促進することでイノベーションを創出し、競争力のある強靱な産業構造へと転換するため。		
目標 (何がどうなれば達成か)	「高度部材イノベーションセンター」(通称:「AMIC」(エイミック))を拠点として、川上産業と川下産業、大企業と中小・ベンチャー企業、県内企業と県外・海外企業等、既存の枠組みを超えた様々な人、組織、機関等が連携することにより、企業単独では困難な技術課題の解決や新製品・新サービスの開発が行われ、技術でも事業でも競争力のある多数の元気なものづくり企業が活躍している。		
対象 (誰・何を対象に)	県内企業等		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者:)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金〔 <u>直接</u> ・間接〕(補助先:(財)三重県産業支援センター 実施主体:)		
	<input type="checkbox"/> 貸付(貸付先:) <input type="checkbox"/> その他()		
事業内容 (手段、手法など)	<p>①高度部材イノベーションセンター事業 73,241千円(H23予算) うち補助金:70,771円(人件費35,229千円、事業運営費3,624千円、維持管理費33,418千円) 「最先端の研究開発」から「中小企業の課題解決支援」までの取組を1箇所で行う、高度部材イノベーションセンター(AMIC)の運営管理</p> <p>②技術・イノベーション開拓支援事業 11,578千円(H23予算) うち補助金:11,207千円(コーディネーター事業9,119千円、セミナー・研究会2,088千円) 技術相談コーディネーターの企業訪問による中小企業の課題解決、セミナー・研究会の開催</p> <p>【最先端の研究開発】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国プロジェクトを含め、現在15のプロジェクトがAMIC入居し、研究開発を実施(主な研究概要) ○レアメタルの一種であるセリウム(※フラットパネルディスプレイ等のガラス研磨剤として使用)の代替材料の開発(NEDO。事業費:約3億8千万円(H21~23)) ○様々な分野への応用が期待されるシート型(薄型)ポリマーリチウム二次電池の開発(文科省。事業費:約5億8千万円(H20~22。H23以降も申請中)) ○その他、民間主体による太陽電池、燃料電池関係等の研究開発 <p>【中小企業の課題解決支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8つの評価計測機器を取り揃え、地域の企業に安価にて開放し、中小企業の研究開発の高度化や課題解決を支援 ・高度な専門的知識・技術をもったコーディネーターを配し、企業訪問による個別相談や評価計測機器の取扱指導により中小企業の課題解決などを支援 ・最先端の技術動向等に関するセミナー、中小企業の課題解決のための研究会を開催 		
関連事業 (同一目的事業等)	<p>産業人材育成事業 (H23予算:11,832千円)</p> <p>AMICでは、「最先端の研究開発」と「中小企業の課題解決」に加え、「産業人材の育成」にも取り組んでいる。中小企業では取り組むことが困難な実践的な人材育成を、本県に拠点を置く大企業からも研修施設・ノウハウ・人材等の面で協力をいただきながら実施しており、これまで約1,000名が受講している。</p>		

事業概要

事業シート（概要説明書）

予算事業名		高度部材に係る研究開発促進事業費				事業開始年度		平成19年度	
		23年度（予算）		22年度（決算）		21年度（決算）		20年度（決算）	
コスト	旅費	1,682千円		727千円		910千円		2,033千円	
	需用費	200千円		70千円		59千円		76千円	
	役務費	300千円		96千円		205千円		0千円	
	その他	659千円		100千円		707千円		185千円	
	負担金、補助及び交付金	81,978千円		65,050千円		98,430千円		71,854千円	
	事業費合計	84,819千円		66,043千円		100,311千円		74,148千円	
人件費	担当正職員	2.5人	22,520千円	2.5人	23,790千円	2.5人	23,675千円	1.5人	14,015千円
	臨時職員等	0.0人	0千円	0.0人	0千円	0.0人	0千円	0.0人	0千円
	人件費合計	2.5人	22,520千円	2.5人	23,790千円	2.5人	23,675千円	1.5人	14,015千円
	総事業費	107,339千円		89,833千円		123,986千円		88,163千円	
財源 内訳	国庫支出金	642千円		1,392千円		2,331千円		3,092千円	
	地方債	0千円		0千円		0千円		0千円	
	その他特財	0千円		0千円		0千円		0千円	
	一般財源	84,177千円		64,651千円		97,980千円		71,056千円	
	財源合計	84,819千円		66,043千円		100,311千円		74,148千円	
事業実績		【活動指標名】				単位	H22年度	H21年度	H20年度
	活動実績	①評価計測機器の開放				件	149	133	89
		②技術相談コーディネーターによる企業訪問				回	372	292	323
		③セミナーの開催				回	13	10	14
	効率指標 (事業費/活動指標)	総事業費 / (①+②+③)					168	285	207
事業成果		【成果指標名】				単位	H22年度	H21年度	H20年度
	成果実績 (事業目標達成状況)	(i) ネットワーク参加企業数				社	272	243	218
		(ii) 研究会開催回数				回	12回/3研究会 のべ228人	21回/4研究会 のべ115人	18回/6研究会 のべ126人
		(iii) セミナー参加者数、満足度				人・%	227人、86%	294人、97%	260人、96%
		(i) 「AMICものづくり倶楽部」。コーディネーターの企業訪問等を契機として会員登録。メルマガによる情報提供や登録企業間の連携支援を実施。 (ii) 企業訪問により発掘したシーズ・ニーズをもとに、企業の課題解決のための研究会を開催							
事業の自己評価 (今後の事業の方向性、課題等)	<ul style="list-style-type: none"> ・国内外の大学や研究機関と県内企業等との連携による共同研究開発の促進に取り組んだ結果、AMICへの国等プロジェクトの誘致につながった。 ・コーディネーターの企業訪問の結果、中小企業の技術課題の解決、国等の競争的資金の獲得につながった。 ・研究開発成果の県内企業への波及、企業間又は企業と大学間等の連携を一層促進し、新たなビジネスを創出していく必要がある。 								
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)	なし								
特記事項 (事業の沿革等)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成20年3月「高度部材イノベーションセンター」開設 ・平成22年3月新棟「加工技術研究棟」整備 ・京都大学、東北大学、九州大学、横浜国立大学、三重大学のサテライト研究室の入居 ・秋田県産業技術センターとの連携 								